

下市町教育委員会だより

教育委員会から町民の皆様への情報通信



令和4年11月1日 第28号
奈良県下市町教育委員会
教育長 小谷 隆男 発行

下市あきつ学園の校歌が決定 ～ 児童生徒による投票で ～

4月に公募をし、校歌・校章選考委員会によって優秀作品が2曲選ばれていた下市あきつ学園の校歌でしたが、子どもたちが歌い込み、ようやく投票し決定しました。結果、**大峯町の米田祐紀子さんの作品**に決定しました。おめでとうございます。とても心に残るメロディーで素晴らしい校歌だと思います。いい歌を作っていただき本当にありがとうございました。

これから先、ずっと長く愛され、歌い継がれることになるでしょう。まずは、令和5年4月の開校式が子どもたちの初披露です。楽しみですね。

<学校保護者説明会>

・11月5日(土)19時～

・観光文化センターホール

下市あきつ学園 校歌



下市あきつ学園校歌
作詞・作曲 米田 祐紀子

一、
水は清く 山は青し 豊かな四季移ろう
杉松香る 山峡の里 吉野の嶺を仰ぎ

二、
空は高く 風は澄みて 心に響く調べ
鳥さえずる 秋野の川 悠久の音を奏で

故郷の愛と友との絆を胸に
志高く道開け 果てしなき大空へ
幾千の思い学び 未来の翼広げ
時紡ぐ 我が学び舎 下市あきつ学園

あたかき人とこの地に 優しく包まれ
共に生きそして高め合う 希望の未来へ
真善美の理想かかげ 知識と生きる力で
夢紡ぐ 我が学び舎 下市あきつ学園

小・中・こども園・運動会 ～小・中最後の運動会～



コロナ禍も多少落ち着き、今年も、運動会・体育祭が、小・中・こども園で開催されました。今年度で閉校になる小・中は最後の運動会となり、皆さんパワー全開でした。



今年のこども園ラスト種目は、なんと「ソーラン節」でした。中学校のソーラン節とはひと味違ったかわいい演技。中学校は今年も勇壮。胸に迫るものがありました。小学校のブルー・フラッグもとても美しく、その他の種目も一生懸命でした。



下市あきつ学園へと引継がれる運動会、ますますの充実でした。

「ひとみキラキラ

本にどきどき」(R4標語)

第76回読書週間

10/27から11/9までの14日間、第76回の「読書週間」です。

毎年町立図書館では、この期間に「リサイクル・ブックフェア」(3日～17日、火・水は休館)を開催します。古本の交換会で、持ち帰りOKです。

今年はどんな本と出会えるか。ひとみをキラキラさせてお越しください。お待ちしています。



この棚全部リサイクルと語る津田さん

リングローの出前授業 ～メタバースを利用して～

下 市小や下市中の校舎が、引っ越し後にどのように活用されるかご存じですか。次の2つの企業が入ります。

下市小校舎は … (株)パルグループホールディングス

下市中校舎は … リングロー(株)

それぞれ、跡地を有効に活用していただけることになっています。どちらも、様々な楽しい企画を進める、今をときめく優良な会社です。きっと町民の皆様の幸せに一役買ってくれるはずですよ。

9 月26日には、リングローの社長「碓(いかり)敏之」さんが中学生に授業をしてくださいました。中古OA機器のリユースを手がける会社だけあって、いわゆる「メタバース」を利用した仮想空間のお話もありました。最近は、身代わりの「アバター」で、様々な疑似体験ができるソフトがあるそうです。リングローさん、下市のICT化をどうぞよろしく。 ↑メタバースの画面



↑メタバースの画面

誰一人取り残されない社会へ

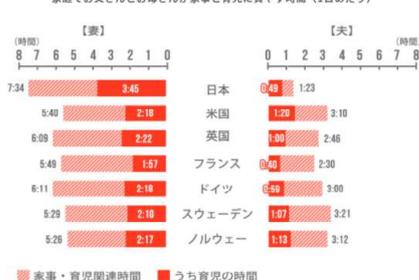
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

5 ジェンダー平等を実現しよう



これって、男女平等？

家庭でお父さんとお母さんが家事と育児に費やす時間(1日あたり)



左のグラフは、妻と夫が家事と育児に費やす時間の平均を国ごとにまとめたもの。世界的に妻の家事労働が多い中、日本は飛び抜けて深刻な状況です。家父長制が長かった歴史と関係があるのでしょうか。未来の日本のために、教育の力で、この差を縮める努力が必要だと感じます。

<下市あきつ学園では、SDGsと下市町をコラボで学ぶ郷土学習「下市学」を進めていきます。>

「菊田コレクション」⑧ 千石橋従南詰(南詰より)吉野山遠望之図 ～名所・千石橋～

▼下の絵図は菊田氏寄贈で、明治大正期の名所図会(当時の絵葉書のようなもの)です。定価は金四銭。印刷出版人として下市の「綿谷久吉」という名が見えます。出来たばかりの千石橋が大きく描かれており、奥の背景には「吉野山」「官幣中社(丹生川上神社中社)」「鮎のすし屋」の文字が見えます。▼ただ、中社は確かに官幣(国立・大正期以降)だけど東吉野村にあるし、すし屋と吉野山の位置関係も何だかおかしい。観光のイメージ図として、かなりデフォルメされているようです。▼いずれにしても、山本平三郎町長らが奔走して作った、十四尺(約4.2m)の柱が96本もあるこの鉄の橋。吉野の名所として、当時知れ渡っていたことは、この絵から伝わってきます。



砂目石版 38cm×53cm

▼リサイクルブックフェアが11月3日から開催されます。昨年のフェアで吉川英治作「宮本武蔵」を手に入れました。ハードカバーの4巻ものです。▼昭和初期の作品ですが、夢中になって読みました。やはり名作は時代を感じさせません。▼「巖流島」は、原作では「船島」。巖流は小次郎の名前でした。さて、今年はどんな本に巡り会えるのか楽しみです。

ご意見・お問い合わせは…
下市町教育委員会事務局
☎ 0747-52-1711
FAX 0747-52-5159
✉ kyoj@town.shimoichi.nara.jp